

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報												
事務事業名	567 自転車のまちづくり推進事業											
戦略プラン	II	2	1	交通移動体系の整備			担当部課	都市計画部総合交通政策課				
総合戦略							係名	交通管理係				
							新規・継続	継続				
予算科目	01-080401-20			自転車のまちづくり推進に要する経費						事業分類	任意的事務	
要求区分				事業期間	平成27年度～令和 6年度					市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input checked="" type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証	
個別計画	つくば市自転車安全利用促進計画										事業体制	一部委託
根拠法令	自転車活用推進法、つくば市自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例						市長公約	45	46	47		
概要												
事業の目的					事業の概要							
環境に優しく、健康増進にもつながる自転車を市内の重要な交通手段の一つとして位置づけ、クルマから自転車への転換を推進する。					<ul style="list-style-type: none"> 自転車の安全で適正な利用を促すことを重点に、つくば市自転車安全利用促進計画に基づく取組を進める。 							
評価												
事業計画					活動実績							
<ul style="list-style-type: none"> 自転車のまちつくば推進委員会による、先進地視察を実施する。 市民感覚に沿った自転車走行空間検討を委員会の中で議論し、方向性を確認する。 各種イベント等を通じて、自転車安全利用を啓発する。 つくば霞ヶ浦りんりんロード利活用推進協議会で取り組む事業に、県と関係部署の連携を図りながら実施していく。 					<ul style="list-style-type: none"> 5月30日 自転車のまちつくば推進委員会による宇都宮市視察を実施した。 市民の自転車利用意識に沿った自転車走行空間の在り方を引き続き検討した。 つくばフェスティバル、環境フェスティバルに出展し、自転車の安全利用・利用促進の啓発を実施した。 つくば霞ヶ浦りんりんロード利活用推進協議会、自転車のまちづくりを推進する全国市区町村長の会、日本風景街道自治体連絡会に加入した。 							
成果					課題							
先進地視察、委員会での意見を踏まえて、市内の自転車関連人身事故発生箇所と道路形状の因果関係の調査を行い、多発箇所を確認した。 自転車の各種団体への加入により、他自治体等との連携を強化することができた。 安全利用チラシを25,000部、利用促進チラシ1800部を配布					つくば市自転車安全利用促進計画アクションプランをH31年度に改訂すること。 自転車施策の取組みにおいて全庁的に調整する部署が必要であること。 茨城県の自転車ネットワーク整備計画との整合を図りつくば市の自転車走行空間整備計画を検討する必要がある。							
改善目標（R01年度にむけて）												
検討の進捗が遅れている自転車走行空間ネットワークについて、道路計画課との事業分担の協議を図る。												
指標の推移												
1	指標名	歩行者・自転車・自動車が共生できていると感じる割合（ % ）					活動指標					
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度				
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	57.0	0.0				
	実績	52.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
	指標の概要	自転車施策に関するアンケート調査（5年に1度）の歩行者、自転車、自動車の共生に関する意識（共生できている割合）※平成31年度に実施する。										
2	指標名											
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度				
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	2,160	2,266	2,261	0
事業費計		(千円)	2,160	2,266	2,261	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.50	1.00		
		時間外勤務 (時間)	183.00	295.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	4,016	7,790		
事業コスト		(千円)	6,176	10,056		

R01年度当初積算根拠	報償費 委員会参加謝礼、委員長施策相談料 525千円
	旅費 自転車利用環境向上会議 外 142千円
	需用費 催事用消耗品、パンフレット等印刷費 外 765千円
	役務費 T Sマーク保険料 42千円
	委託料 自転車のまちつくばウェブサイト保守管理、更新委託料 642千円
	使用料及び賃借料 イベント出展用駐車場使用料 9千円
	負担金及び交付金 自転車を活用したまちづくりを推進する全国市区町村長の会負担金 10千円

予算の方向性	理由	つくば市自転車安全利用促進計画及び同アクションプランに基づき施策に取り組んでいくため、予算の方向性を維持とした。
維持		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の実施計画を達成した。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報									
事務事業名	568 コミュニティバス「つくバス」運行事業								
戦略プラン	II	2	1	交通移動体系の整備	担当部課	都市計画部総合交通政策課			
総合戦略	IV	1	(1)	交通移動体系の整備	係名	交通管理係・交通政策係			
					新規・継続	継続			
予算科目	01-080401-15 公共交通対策に要する経費				事業分類	任意的事務			
要求区分				事業期間	平成28年度～平成30年度				
個別計画					市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証			
根拠法令					事業体制	一部委託			
					市長公約	42	43		
概要									
事業の目的					事業の概要				
<p>市内公共交通網の幹線として、路線バスを補完し、市内各地の核となる拠点と鉄道駅を結ぶ、直行性・速達性を確保した高頻度運行による鉄道端末手段としての役割を担う。</p>					<ul style="list-style-type: none"> 7路線において、一日327便、年間365日コミュニティバスを運行する。 BRT（バス高速輸送システム）の導入に関する情報収集及び検討を行う。 				
評価									
事業計画					活動実績				
<ul style="list-style-type: none"> 公共交通網の改編案の策定及びつくバスの一部改編と準備作業を実施する。 公共交通改編の地区別説明会の5月に開催する。（全14回） BRTの需要予測調査を含めた導入に向けての調査を平成31年度に実施するため、周辺自治体などの情報収集を行う。 					5月 公共交通改編案の地区別説明会を全14回開催、つくバス関係者会議を開催 8月 公共交通改編案策定 9月 つくバス改編予算を確保 10月 つくバス改編実施 通年 運行トラブルや交通規制等の対応、つくバス改編に係る運行事業者との調整				
成果					課題				
H30年度利用者実績 1,052,988人 対前年度比較で15,441人の利用者を増加（1.5%増）させることができた。					バスの乗り換え利用者が多く見込まれる交通結節点等におけるバス待ち環境の整備や、利用者数が少ない路線を中心とした利用促進活動等、利用者の増加を図る対策が必要である。 市内公共交通の利便性向上のため、BRTの導入を検討する。				
改善目標（R01年度にむけて）									
茨城県の公共交通活性化事業費助成金を活用したバス待ち環境の整備を検討する。 つくば市公共交通活性化協議会の幹事会を開催し、BRTの導入について調査・検討を行う。									
指標の推移									
1	指標名	コミュニティバス利用者数（人/年）						成果指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績	888,032.0	953,837.0	1,004,662.0	1,037,547.0	1,052,988.0	0.0	0.0	
	指標の概要	コミュニティバス「つくバス」の利用者数（全路線累計）※目標値はR1年度から設定							
2	指標名								
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	249,458	246,825	340,873	0
事業費計		(千円)	249,458	246,825	340,873	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.20	2.00		
		時間外勤務 (時間)	400.00	400.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	9,539	15,107		
事業コスト		(千円)	258,997	261,932		

R01年度当初積算根拠	負担金補助及び交付金 つくバス運行負担金 (H30-H35債務負担行為済) (運行経費 526,451千円+バスロケーションシステム変更に伴う負担金増額分1,690千円) -運賃収入218,317千円=308,824千円					

予算の方向性	理由	つくバス改編をH31年4月に実施するため。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	569 デマンド型交通「つくタク」運行事業									
戦略プラン	II	2	1	交通移動体系の整備	担当部課 係名	都市計画部総合交通政策課 交通管理係・交通政策係				
総合戦略					新規・継続	継続				
					事業分類	任意的事務				
予算科目	01-080401-15 公共交通対策に要する経費				市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
要求区分				事業期間						
個別計画										
根拠法令					事業体制	一部委託				
					市長公約	42	44			
概要										
事業の目的					事業の概要					
<p>市内公共交通網の支線として幹線である路線バス等を補完する。 バスへの接続を担うとともに、交通弱者をはじめとする市民の日常生活を支える交通手段の確保を行う。</p>					<p>・5地区（筑波、大穂・豊里、桜、谷田部、荃崎）において、平日（年末年始を除く）9時～16時台にデマンド型交通を運行する。</p>					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> 公共交通網の改編案の策定及びつくタク改編に向けた準備作業を実施する。 公共交通改編の地区別説明会を5月に開催する。（全14回） 					5月 公共交通改編案の地区別説明会を全14回開催、つくタク関係者会議開催 8月 公共交通改編案策定 9月 つくタク改編予算を確保 10月 つくタク改編実施（電話回線増設等） 2月 つくタク関係者会議開催 通年 つくタク改編に係る運行事業者との調整					
成果					課題					
H30年度利用者実績 55,858人 対前年度比較で1,222人の利用者を増加（2.2%増）させることができた。					利用者を増加させるため、更なる乗り合い率を向上させる取組が必要である。 乗降場所の新規設置要望に対応するため、乗降場所の設置方針等を定める必要がある。					
改善目標（R01年度にむけて）										
つくタク改編の利用状況を注視し、予約配車方法の更なる工夫について検討する。 つくタク乗降場所設置管理要項（仮称）を制定する。										
指標の推移										
1	指標名	デマンド型交通利用者数					(人)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	52,000.0	51,000.0	51,000.0	54,000.0	54,000.0	65,000.0	65,000.0		
	実績	50,865.0	48,544.0	50,811.0	54,636.0	55,857.0	0.0	0.0		
	指標の概要	デマンド型交通「つくタク」の年間利用者数								
2	指標名						()			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	143,567	143,941	150,019	0
事業費計		(千円)	143,567	143,941	150,019	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.20	1.50		
		時間外勤務 (時間)	400.00	597.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	9,539	12,068		
事業コスト		(千円)	153,106	156,009		

R01年度当初積算根拠	委託料	デマンド型交通システムカスタマイズ委託料 (H29-H33 5年間の分割契約の3年目) 3,519千円 デマンド型交通運行事業委託料 運行経費 155,031千円-運賃収入 10,464千円=144,567千円				

予算の方向性	理由	つくたく改編をH31年4月に実施するため。ただし、つくたくとH31年4月から新たに導入する支線型バス実証実験事業の利用状況を注視しながら、今後の地域内交通のあり方を検討していく。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	1	事業の継続について検討する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	10,940	6,209	6,510	0
事業費計		(千円)	10,940	6,209	6,510	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.10	1.50		
		時間外勤務 (時間)	400.00	400.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	8,828	11,579		
事業コスト		(千円)	19,768	17,788		

R01 年度当初積算根拠	委託料 公共交通政策点検・評価業務委託料 4,370,000×1.08=4,720千円					

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	156	214	257	0
事業費計		(千円)	156	214	257	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.50	0.50		
		時間外勤務 (時間)	17.00	17.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	3,597	3,572		
事業コスト		(千円)	3,753	3,786		

R01年度当初積算根拠	旅費	東京方面(秋葉原) : 2,366円×4名×7回=66,248円 霞が関 : 2,532円×2名×6回=30,384円				
	負担金補助及び交付金	つくばエクスプレス三市推進協議会負担金 : 50,000円 つくばエクスプレス沿線都市連絡協議会負担金 : 50,000円 茨城県つくばエクスプレス等整備利用促進協議会負担金 : 40,000円				

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	